

市長と語ろう住民懇談会

市長と語ろう住民懇談会を開催しました。

テーマ：「障がいのある方にやさしいまちづくり」

日 時：平成 28 年 10 月 18 日(火) 14:00~15:30

場 所：café 42

参加者：福祉関係のボランティア活動をされている方 9 名



今回は、様々な福祉活動のボランティア活動をされている方々 9 名が参加され、様々な障がいを抱える方々との関わりの中で感じたり考えたりされていることや実際に障がいを抱えている方の実情などを話題に懇談が行われました。

参加者の皆さんからは、主に次のようなお話がありました。

- *身体障害者福祉会の研修旅行に市のバスを出していただきたい。
- *市の特産品を使った商品を作っているが、販路が思うようにいかない。
- *親の高齢化が進んでいるため、知的障害者が最終的に生活できる場がほしい。
- *障がい者に市民バスを無料化してほしい。
- *市でも積極的に障がい者の就労を進めてもらいたい。
- *市役所でも知的障害者を採用してもらいたい。
- *障がい者支援の改善状況を報告するなど支援者等と連携してほしい。
- *精神福祉のボランティアが高齢化してきている。
- *講習会開催が心の病気の理解やボランティア活動のきっかけづくりにつながる。
- *障がい者のためにプールの定期券があると通いやすく、利用促進にもなると思う。
- *公的機関に手話通訳のできる、または手話に親しんでいる職員の配置を望む。
- *聴覚障がい者に対する合理的配慮を、まず手話通訳講座から始めてほしい。
- *手話通訳者の運営状況を知りたい。
- *手話言語条例を制定してほしい。
- *市民に手話への理解が広まってほしい。
- *聴覚障がい者の緊急時の連絡体制を安心できるものにしてほしい。
- *聴覚障がい者は、緊急時の連絡に不安がある。
- *職員の接遇研修に聴覚障がい者への接し方を含めてほしい。
- *申請手続きの時など、手話ができなくても対応できるようにしてほしい。
- *手話通訳者養成講座とは別に手話通訳の登録講座を開催してほしい。
- *障がい者本人から声を聞く懇談会をやってはどうか。
- *総合社会福祉センターを日曜日も開館してほしい。
- *障がい者の就労は一般就労もあるので家庭福祉課だけでなく対応してほしい。

いただいたご意見につきましては、様々な角度から検討し、これから行政がどのように支援していけばいいのかに活かしていきたいと考えております。

ご参加下さった皆様ありがとうございました。